

2022年5月31日

2022年度 第1回  
学校関係者評価委員会 報告書

作成者(書記)：岩渕

日 時	2022年5月31日(火) 13:00~14:30
場 所	札幌ベルエポック美容専門学校 401,402 教室
出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>西村 知子 地域代表 (東北第二町内会 会長)</p> <p>佐藤 明彦 卒業生代表 (株式会社 バリエ札幌店 店長)</p> <p>佐藤 直雅 業界代表 (株式会社 B-side 代表) ZOOM</p> <p>大倉 健作 業界代表 (エイベックス・エンタテインメント株式会社 中部支社長)</p> <p>ZOOM</p> <p>高橋 知宏 高等学校関係者代表 (北海道芸術高校キャンパス長) ZOOM</p> <p>岩川 祥哉 札幌美容協同組合 (副理事長)</p> <p>石山 美彌子 業界代表 (株式会社クリエイティブオフィスキュー)</p> <p>&lt;学校側参加者&gt;</p> <p>池田 尚志 札幌ベルエポック美容専門学校 学校長</p> <p>山口 敦 札幌ベルエポック美容専門学校 事務局長</p> <p>藤本 佳奈 札幌ベルエポック美容専門学校 教務部長</p> <p>白山 かがり 札幌ベルエポック美容専門学校 第二学部長 トータルビューティ科学科長</p> <p>大澤 慶太 札幌ベルエポック美容専門学校 美容師科 学科長</p> <p>岩渕 太秀 札幌ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科 学科長代理</p> <p>組野 智仁 札幌ベルエポック美容専門学校 広報センター センター長代理</p> <p>加藤 幸樹 札幌ベルエポック美容専門学校 学生支援センター長</p>
学校関係者 評価委員会	<p>■はじめに</p> <p>0、教務部長より本日の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スタッフ紹介</li><li>・学校長挨拶</li><li>・学校責任者挨拶</li><li>・委員自己紹介</li><li>・2021年度活動報告と自己点検評価</li><li>・学校紹介(広報)</li></ul>

1、 ---池田学校長より---

4月から藤井学校長の後任として勤務

社会はアフターコロナに向けて着実に歩みを進めている。

業界直結の学びを通して社会に出ていくことを念頭に進めている。

2、 ---山口事務局長より---

本日の学校関係者評価委員会では令和3年度の活動について評価をいただく

■職業実践専門課程について

専門学校の高質の担保を目的にスタート

○認定日

美容師科 H30.5 認定

ヘアメイク科 R2.4 認定

TB科 R2.4 認定

○開催について（2つの委員会）

① 学校関係者評価委員会

企業、業界卒業生、保護者、近隣、高等学校各様の意見を学校運営に反映 年1開催が必要

② 教育課程編成委員会

企業・業界団体の意見をカリキュラムに反映していく【年2回】

○3つの柱

① 産学連携

② FD(教授力向上)

③ 情報公開

○年間の流れ

自己点検、自己評価

10項目

↓

委員会開催

↓

情報公開（HP等）

**【自己評価 10 項目】**

- 1、 教育理念・目的・育成人材像
- 2、 学校運営
- 3、 教育活動
- 4、 教育成果
- 5、 学生支援
- 6、 教育環境
- 7、 学生の募集と受け入れ
- 8、 財務
- 9、 法令の遵守
- 10、 社会貢献

**■札幌ベル美容について**

**【教育】**

○学校コンセプト

最新の美容ファッションを一人ひとりに

○教育のフロー

入学前) 自己発見

「アドミッションポリシー：どのような入学者をどのように受け入れるのか」

↓目的意識をもつ

在学中) 自己変革

「カリキュラムポリシー：どのような教育課程を準備し、教育内容・方法を実施しどのように評価するか」

↓目的を明確にする、学ぶ

卒業後) 自己実現

「ディプロマポリシー：どのような力を身に着けた者に卒業を認定するか」

職業人としてのミッションを明確にする

○3つのポリシー

大学は3つのポリシーを定め、公開することが義務化されている

高校生の進路決定の参考になっている

専門学校は義務化されていないが、札幌ベルエポック美容専門学校はこれを定め、公開している

## 札幌ベルエポック美容専門学校3つのポリシー

札幌ベルエポック美容専門学校は、滋慶学園の「建学の理念」（実学教育、人間教育、国際教育）と4つの信頼（学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、業界からの信頼、地域からの信頼）を基盤に美容業界で活躍できる人材を育成するために、3つのポリシーを定めています。

### 【ディプロマポリシー】

札幌ベルエポック美容専門学校は、滋慶学園の「建学の理念」と「4つの信頼」に基づいて、知識、情報力、感性、創造力、コミュニケーション力ならびに社会人基礎力を身につけた「quality of life のコーディネーター」として美容業界で即戦力として活躍できる学生を社会・業界に送り出します。

学生が卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 学内外における様々な教育プログラムを通して社会人基礎力が身に付いている。
2. 美容業界をはじめとした様々な分野との連携により、職業人・業界人としての人間力と社会人としての身構え・気構え・心構えが身に付いている。
3. 北海道内における産学連携プログラム、ボランティア活動などにより、北海道の魅力を発信する力が付いている。
4. 仕事をする上で必要な知識・技術・資格取得がなされている。
5. 他者や異文化に対する理解を深め、国際感覚が身に付いている。

### 【カリキュラムポリシー】※見直し必要

札幌ルエポック美容専門学校は、滋慶学園の「建学の理念」と「4つの信頼」を実現するために、「専門教育」と「キャリア教育」を体系化した職業人教育のカリキュラムを北海道や東京で展開し、美容人材としての幅を広げます。

また、英語教育や海外研修などの国際教育を通じ、国際感覚を身に付けるカリキュラムを提供します。

カリキュラムの柱を以下に示します。

1. 美容業界等と連携したTOPサロンゼミやアシスタントプログラム、実習プログラムを提供します。
2. 入学者一人ひとりの希望に合った職業を目指すために、専攻プログラムを提供します。
3. 国際感覚を養うための、基礎的なグローバル人材育成プログラム(海外研修など)を提供します。
4. 基礎学力向上、技術力向上を図るプログラムを提供します。

## 【アドミッションポリシー】

滋慶学園の「建学の理念」と札幌ベルエポック美容専門学校の「教育目標（開講の目的）」に共感できる入学者を国内、国外問わずに受け入れます。

求める人材像を以下に示します。

1. 目的、目標が明確で、将来、美容のプロとして活躍し、社会に貢献したいと考える人
2. 何事にもチャレンジしようという好奇心と挑戦心がある人
3. 主体性があり、自から学ぼうという意欲がある人
4. 他者を尊重し、思いやりの心がある人
5. 自らすすんで挨拶ができる人

### ○札幌ベルの教育

#### 【自ら考え行動できる自己変革型人材の育成】

社会の変化に伴い職業人教育も変化している

「社会の変化＝職業人教育の変化」

変化に伴い、学びの変化も必要になっている。

社会から求められる人材が変化している。

環境適応型人材→自己変革型人材へ（変わりゆく社会の変化に対応）

※自己変革型人材への育成に向けて出席率も自分で考える教育にしている。

※単位の計算をできると、自分のコントロールに繋がる

### 3、---教育活動報告---藤本教務部長より

#### ■2021 年度教育結果

「自己変革型人材の育成」

#### ○教育総括

	4 月在籍数	D.O	D.O 率	留年・卒延	休学
美容師科 1 年	8 0	1 1	1 3 %	1	0
美容師科 2 年	8 1	3	3.7%	7	1
HM 科 1 年	62	6	9.7%	0	1
HM 科 2 年	41	2	4.8%	0	0
TB 科 1 年	56	4	7.1%	1	1
TB 科 2 年	43	1	2.3%	0	0
	363	27	7.4%	9	3

退学者 27 名 D.O 7%

### 【2年生のD.O問題】

#### D.O理由について

様々な理由が考えられるが、学科によって退学理由に偏りがある

美容師科は国家試験に対する不安やモチベーションも問題

自己変革型人材にむけての「自立教育」の不足

講師・職員・学生の繋がりが薄くなったことも要因として考えられる。

#### ▽1年生D.O理由

美容師科 学校・クラス不適合 病気・メンタル面

HM科 学校・クラス不適合

TB科 学校・クラス不適合

#### ▽2年生D.O理由

美容師科 意欲低下・学力不足

HM科 進路変更・目的意識

TB科 病気・メンタル面

課題は自己変革型人材を育成するために必要な自律教育の不足

担任の力量だけでは、学生の底上げ（D.O防止）にはならない

### 【見直しのポイント】

- ・繋がり（スタッフ・講師・学生）
- ・基本の撤退（挨拶・一人ひとりを見る視点・コミュニケーション）

### 【仕組みの変更】

- 1、 導入教育の計画的な実施 → フロー教育 1か月の長期導入期間
- 2、 講師会議の時期・内容再考 → 講師の先生と一緒に学生を育てる意思確認
- 3、 苦手サポート制度 → 一人ひとり見る（受け皿） 必要としている学生のフォロー

#### ○導入教育

1年生：1か月導入教育

第1クール → 環境に慣れる、入学前教育のAP振り返り

第2クール → 自分の振り返り（入学動機と目標） 規律教育の基本

第3クール → 学校生活のイメージする（教材・時間割・トップサロンゼミ）

2年生：2週間導入教育

進級後の目標再設定

コミュニケーション（帰属意識）

規律教育やり直し

○講師会議の見直し

1. 2. 3月に実施 → 6.9. 2.3月に実施

※学生のモチベーション低下や問題の出やすい時期を重ねる

- ・講師とのコミュニケーション教科
- ・情報共有（日常的）
- ・毎回FD研修を実施（学生対応・学生を知る）

○苦手サポート

一人ひとりをみる（受け皿）

※授業や人間関係についていけない学生のフォロー

→D.O、国家試験受験フォローに繋げる

→専任担任・講師が担当（技術）

→担任・スタッフ・SSCが担当（精神的）

○国家試験合格率

	出願者	受験者	合格者	合格率
総合	76	69	67	97.1%(88.1%)
実技	76	69	68	98.5%(89.4%)
筆記	76	69	68	98.5%(89.5%)

出願数 76名 受験者数 69名 合格者 67名

不合格者 2名（実技1名・筆記1名） 合格率 97.1%

**【課題】**

未受験者が多い

D.O 3名

転科転校 2名

卒業延期者 7名

願書は記入したが受験しなかった学生が多いことが問題。

モチベーションの維持・向上が課題となる

○就職

	在籍者	希望者	内定数 3/31	就職者率	内定数 5/15	就職者率
美容師科	76	71	68	96%	71	100%
HM科	39	37	37	100%		
TB科メイク	14	14	14	100%		
TB科エステ	18	16	16	100%		
TB科ネイル	1	1	1	100%		
TB科FA	9	7	7	100%		
合計	157	146	143	97.9%	146	100%

全体で 97.9%内定

就職率 → 希望者数の凹みが大きい

内定率 → 希望者数に対する内定は順調

※課題は就職希望者数をどう増やすか

4、 学校紹介 広報活動について

学生の行動を変えるには我々の行動を変える必要がある。

一人ひとりを見て、考える力がない学生の把握が必要。

学生の質に応じて対応を考える必要がある。

全国の専門学校の退学率→15%

平均と比べると少ないが、我々の求めるところはそのではない。

※広報でどのように広報を行っていくかを学校説明で委員のみなさまに説明

4、 ---委員より---

○業界代表 石山様

人気のヘアメイクの皆さんは人間力が一番と感じる。

技術が伴わない学生に対しては、もっと探求心をもって学んでほしい。

対象とする相手を見て、衣装のことなど周りを見ることもとても重要だと思う。

コロナ禍での学びの減少があり、ツキイチライブをやらせてもらっている。

モチベーションの高い学生に対して、今後も一緒にできたらと思っています。



○業界代表 岩川様

自立・発想・挨拶

最近の子をみていると、その部分からの教育が必要と感じる

心の優しい子は増えている

自分で考えて動くことはできない（指示待ち族）

教えていないことができる人も中にはいる

一人ひとりに合った教育方法・勉強方法に合わせていく必要がある。

リタイアは受け入れたサロンの責任

競争力がない（順位をつけてこられなかった）

自分をコントロールしながら生活している。

世の中が落ち着いたら、海外なども積極的に行くべき

プロに認められる美容師→お客さまの支持が一番の美容師だと思うので、その部分も教育に入れ込んでいければと思う。

○業界代表 大倉様

美容師になりたいということで入学すると思うが、入ってから何をしたいのかを明確にするために教育していくのが今は必要。

目的が不透明で、せっかく目指すのであれば追及するべき

熱い想いなども授業のながれで身につけさせることができればよい

精神論と楽しいとの共存は難しいと思うが、頑張ってもらいたい。

○地域代表 西村様

話を聞いていると時代だなと感じる。

コロナでのピンチをチャンスととらえている。

みんなで一丸となつてとらえているのがすごいと思った。

地域の小学校で運動会があった。

環境を変わらざるを得ない状況になっている。

コミュニケーションがとても重要。

○高校関係者代表 高橋先生

色々な取り組みをしていることが分かった。

Q.自立を促すためにどうするか

高校は生徒会活動などの自治組織を意識しているが

ベルには何か取り組みはあるのか

A. 学生スタッフを通して、学生たちの気持ちの確認を行うことや、普段の学校生活のことなど自分たちの口から発信させるようにしている。

自己ブランディングを学ぶ場を提供

学生たちが主体的に動けるよう、イベントを考えることもさせている。

高校の現場でも同様の状況を抱えている

目標設定、連帯意識を持たせることが苦慮している

○卒業生代表 佐藤様

自分で考えて自分を律していくことがすごく感じた。

自分が学生の時よりもレベルが上がっていると感じる。

自分で考える時間を重要と考える。

○業界代表 佐藤様

自分で休む日を決めてもいいということを書いていたが、皆勤などはどうなる？

→欠席になるが、自分でコントロールできるのはいいと思う。

採用基準として、遅刻欠席をみるので、そのような理由がある欠席の人もいるということがわかりました。

～履歴書について～

志望動機の欄が小さすぎる。

うちに入りたいという意思を知りたいので注視している。

志望動機のスペース内で作ってしまうので、別紙をつけて同封してもらえるような教えをしてくれると嬉しい。

知りたい部分が知りにくい履歴書になっている。

～SNS を使うことの重要性について～

技術がどんなに優れていても、クライアントに伝わらないと仕事に繋がらない。

ヘアメイク業界は特に重要な部分になる。

個々の学生の発信を増やしていくことによって、学校の発信にも繋がると思う

5、---今後について---

委員会欠席者には議事録、評価結果及び改善方策の用紙を送付、

ZOOM 参加の方には議事録、評価結果及び改善方策の用紙、報酬振込依頼書を送付

6月15日を目途に返信をいただく